

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【公開番号】特開 2019-201354 (P2019-201354A)
 【公開日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-047
 【出願番号】特願 2018-95638 (P2018-95638)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 8 8 5

H 0 4 N 1/32 0 0 5

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 12 日 (2021.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部装置からの信号を受信可能であって、第 1 電力状態と該第 1 電力状態より消費電力の低い第 2 電力状態で動作可能な画像通信装置であって、
 電話回線からの信号に応じて鳴動し、かつ、呼出信号に応じて鳴動する鳴動手段と、
 前記鳴動手段へ前記呼出信号を出力する呼出信号発生手段と、
 前記鳴動手段を、ファックスデータの受信時に鳴動させる又は鳴動させないように設定する設定手段と、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の電力状態を、前記第 1 電力状態から、前記呼出信号発生手段への電力供給を停止させる前記第 2 電力状態へ移行し、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記呼出信号発生手段への電力供給を維持する電源制御手段と
 を備えることを特徴とする画像通信装置。

【請求項 2】

前記電源制御手段は、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は、処理要求を受信することなく前記所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の前記電力状態を前記第 1 電力状態から前記第 2 電力状態へ移行させることを特徴とする請求項 1 に記載の画像通信装置。

【請求項 3】

前記電源制御手段は、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記所定時間が経過した場合であっても前記呼出信号発生手段への電力供給を維持することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像通信装置。

【請求項 4】

前記設定手段は、さらに、前記電話回線からの着信時に動作する受信モードを設定し、
 前記受信モードには、ユーザ操作を介することなく自動的に受信動作を行う自動モードと、ユーザ操作を介して受信動作を行う手動モードと、ファックス通信及び電話通信を切り替えて受信動作を行う切替モードとを含み、

前記電源制御手段は、前記受信モードが前記自動モード又は前記切替モードの場合には、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は前記所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の前記電力状態を前記第 1 電力状態から前記第 2 電力状態へ移行することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 5】

前記電源制御手段は、前記受信モードが前記手動モードの場合には、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されているかどうかに関わらず、前記画像通信装置の前記電力状態を、前記第 1 電力状態から前記第 2 電力状態へ移行することを特徴とする請求項 4 に記載の画像通信装置。

【請求項 6】

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は、前記鳴動手段へ電力を供給するネットワーク制御手段に対して公衆回線からの電力供給となるように切り替え、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記ネットワーク制御手段への電力供給を前記画像通信装置の内部で行うように切り替える切替手段をさらに備えることを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の画像通信装置。

【請求項 7】

前記画像通信装置は、前記第 1 電力状態よりも低い消費電力であって、前記第 2 電力状態よりも高い消費電力である第 3 電力状態で動作可能であり、

前記電源制御手段は、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は前記所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の前記電力状態を前記第 1 電力状態から前記第 3 電力状態へ移行させることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 8】

前記設定手段は、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記外部装置からの所定の着信信号に基づいて、疑似呼出信号を前記鳴動手段に出力することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 9】

電話回線からの信号に応じて鳴動し、かつ、呼出信号に応じて鳴動する鳴動手段と、前記鳴動手段へ前記呼出信号を出力する呼出信号発生手段とを備え、外部装置からの信号を受信可能であって、第 1 電力状態と該第 1 電力状態より消費電力の低い第 2 電力状態で動作可能な画像通信装置の制御方法であって、

前記鳴動手段を、ファックスデータの受信時に鳴動させる又は鳴動させないように設定する設定工程と、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の電力状態を、前記第 1 電力状態から、前記呼出信号発生手段への電力供給を停止させる前記第 2 電力状態へ移行し、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記呼出信号発生手段への電力供給を維持する電源制御工程とを含むことを特徴とする画像通信装置の制御方法。

【請求項 10】

前記電源制御工程では、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は、処理要求を受信することなく前記所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の前記電力状態を前記第 1 電力状態から前記第 2 電力状態へ移行させることを特徴とする請求項 9 に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 11】

前記電源制御工程では、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないよ

うに設定されている間は、前記所定時間が経過した場合であっても前記呼出信号発生手段への電力供給を維持することを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 12】

前記設定工程では、さらに、前記電話回線からの着信時に動作する受信モードを設定し、

前記受信モードには、ユーザ操作を介することなく自動的に受信動作を行う自動モードと、ユーザ操作を介して受信動作を行う手動モードと、ファックス通信及び電話通信を切り替えて受信動作を行う切替モードとを含み、

前記電源制御工程では、前記受信モードが前記自動モード又は前記切替モードの場合には、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は前記所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の前記電力状態を前記第 1 電力状態から前記第 2 電力状態へ移行させることを特徴とする請求項 9 乃至 11 の何れか 1 項に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 13】

前記電源制御工程では、前記受信モードが前記手動モードの場合には、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されているかどうかに関わらず、前記画像通信装置の前記電力状態を、前記第 1 電力状態から前記第 2 電力状態へ移行させることを特徴とする請求項 12 に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 14】

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は、前記鳴動手段へ電力を供給するネットワーク制御手段に対して公衆回線からの電力供給となるように切り替え、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記ネットワーク制御手段への電力供給を前記画像通信装置の内部で行うように切り替える切替工程をさらに含むことを特徴とする請求項 12 又は 13 に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 15】

前記画像通信装置は、前記第 1 電力状態よりも低い消費電力であって、前記第 2 電力状態よりも高い消費電力である第 3 電力状態で動作可能であり、

前記電源制御工程では、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は前記所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の前記電力状態を前記第 1 電力状態から前記第 3 電力状態へ移行させることを特徴とする請求項 9 乃至 14 の何れか 1 項に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 16】

前記設定工程では、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記外部装置からの所定の着信信号に基づいて、疑似呼出信号を前記鳴動手段に出力することを特徴とする請求項 9 乃至 15 の何れか 1 項に記載の画像通信装置の制御方法。

【請求項 17】

電話回線からの信号に応じて鳴動し、かつ、呼出信号に応じて鳴動する鳴動手段と、前記鳴動手段へ前記呼出信号を出力する呼出信号発生手段とを備え、外部装置からの信号を受信可能であって、第 1 電力状態と該第 1 電力状態より消費電力の低い第 2 電力状態で動作可能な画像通信装置の制御方法における各工程をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記制御方法は、

前記鳴動手段を、ファックスデータの受信時に鳴動させる又は鳴動させないように設定する設定工程と、

前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の電力状態を、前記第 1 電力状態から、前記呼出信号発生手段への電力供給を停止させる前記第 2 電力状態へ移行し、前記鳴動手段が

前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記呼出信号発生手段への電力供給を維持する電源制御工程とを含むことを特徴とする画像通信装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明は、例えば、外部装置からの信号を受信可能であって、第１電力状態と該第１電力状態より消費電力の低い第２電力状態で動作可能な画像通信装置であって、電話回線からの信号に応じて鳴動し、かつ、呼出信号に応じて鳴動する鳴動手段と、前記鳴動手段へ前記呼出信号を出力する呼出信号発生手段と、前記鳴動手段を、ファックスデータの受信時に鳴動させる又は鳴動させないように設定する設定手段と、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動するように設定されている間は所定時間の経過に基づいて、前記画像通信装置の電力状態を、前記第１電力状態から、前記呼出信号発生手段への電力供給を停止させる前記第２電力状態へ移行し、前記鳴動手段が前記ファックスデータの受信時に鳴動しないように設定されている間は、前記呼出信号発生手段への電力供給を維持する電源制御手段とを備えることを特徴とする。